

マウス 胚・精子凍結保存と胚移植の依頼方法

- マウス胚・精子凍結保存と胚移植の依頼を希望する場合は、以下の手続きを行って下さい。
 - ① 遺伝子組換えマウスを使用する場合は、**組換えDNA実験計画書を組換えDNA実験安全管理委員会へ申請し、承認を得て下さい。**
 - ② **動物実験計画書を動物実験委員会へ申請し承認を得て下さい。**その際、組換えDNA実験計画書の写し(PDF)を添付して下さい。
※胚凍結保存と個体作製の動物実験計画書にはひな形があります。必要な場合は動物実験委員会にお問い合わせ下さい。
 - ③ ①と②が承認され次第、**マウス胚／凍結保存・移植依頼書を動物資源部門受付へご提出下さい。**
※マウス胚／凍結保存・移植依頼書は、動物資源部門鹿田施設ホームページよりダウンロード可能です。該当する項目すべてを埋めてからご提出下さい。
URL http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/info_about_use.html
※体外受精に使用するマウスには適齢期があります。
メスは9～12週齢を10匹、オスは3カ月齢～6カ月齢を2匹です。
依頼後すぐに実施できる訳ではありませんので、事前にマウスを準備している場合は、誕生日を早めに担当者までご連絡下さい。



● 依頼後の流れ

依頼書受付後、依頼内容と承認済み動物実験計画書との照合を行い、マウスの週齢に合わせて実施日を決定いたします。

※胚・精子凍結保存の場合は、凍結胚・精子から新生仔が得られるか否かまで確認します。

※胚凍結の場合、2細胞期胚を160個保存することを基準としています。凍結胚の数が少ない場合は再度実施いたしますが、試薬代金とマウスを追加でご用意いただくこととなりますので、ご了承下さい。

※胚・精子凍結保存の料金は1系統 77,000円、胚移植は1系統 55,000円です。(学内料金)

ご質問等ありましたら、担当者までお問い合わせ下さい。

本件担当：自然生命科学研究支援センター動物資源部門
藤井 匡寛 内線(鹿田)7445
animal@md.okayama-u.ac.jp (◎は@へ変換してください)